

## 第2回熊本市保存建築物選定委員会 議事録

【日 時】 令和6年(2024年)2月6日(火)午後3時~午後4時30分

【場 所】 熊本市役所 4階モニター室

【出席者】 3名出席 ※以下、敬称略

委員 田中 智之(会長)、小粥 祐子(副会長)、吉武 隆一

【議題】 早川倉庫(本宅)の保存建築物への登録について

### 【結論】

事務局からの説明の内容は大筋で了承。

ただし、歴史的な価値の位置づけに関する方針とその対応を具体的にうたってほしい。それに関連して、継承する部材をどう扱っていきたいのか、例えば一階の人見梁や、二階の床をどういう位置づけにするのかといった、部材の扱いに関する設定、それに伴う具体的な計画を慎重に御検討いただきたい。

### 【委員からの意見】

#### 1. 全般

- ・平面図だけが資料で出ているが、展開図が資料としてあると、検証がしやすい。
- ・不特定多数の人が利用する1階のイベントホールとロビー、2階の物販の空間が、歴史的な雰囲気を感じる大事な部分だと思う。極力今ある部材で保存しながら、新たな用途に供していくという方針でやってほしい。
- ・改修案を考えている人が、どういうふうに部材の価値というものを見せたいのかが重要である。
- ・例えば新しいサッシを入れるとあるが、どんなサッシなのか、色はどうなのかといったことが重要だと思う。

#### 2. 一階の改修について

- ・一階に立派な人見梁があるが、新しい計画の平面図を見たときに、新しいロビーとの間仕切りで切断しているように見える。
- ・受付カフェからロビーを通過してイベントホールが抜けるのは一つの大きな動線なので、そこで右手に連続的に見えるような方法も考えて頂きたい。

#### 3. 二階の改修について

- ・今回利用目的としては、床を張った方がいいということだが、取り外し可能な施工が可能かどうかの検討をして頂きたい。
- ・倉庫業になって床を開けた可能性もある。醸造所の時代に、頻繁に吹き抜けて物を上げ下げする使い方をしていたのか。また、貨車の痕跡の跡の確認が必要となる。倉庫業になって床を開けたことも歴史的価値一つとなる。
- ・二階の床は当時の景観の特徴としては大事だと思うので、うまく特徴を残した形で、改修できるといい。
- ・土壁の開口について、穴をあけなくても、コワーキングのほうから逃げ込む等のプランをもう一度整理して欲しい。あるいは開けるにしても、オリジナルの仕上げが保存されたような建具にするなどを検討いただきたい。